

すわみつえ通信

No.160 2021年2月8日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

緊急事態宣言の 延長が発令

3月7日まで一カ月継続

2月7日までの緊急事態宣言が3月7日まで延長されました。不要不急の外出の制限、飲食業の時間短縮営業がさらに一カ月間続きます。

私の住まいの近くの中華屋さんには、平日の夕方の営業を止め、日中だけの営業としました。時々、夕飯用にテイクアウトをしていました。同じく日本蕎麦屋さんには全日休業中です。必ず再開してほしいと思います。それには、国が休業補償をしないとだめです。

新型コロナ 埼玉県への対応 協力金とPCR検査

営業時間短縮に協力した 店舗に補償を追加

営業時間短縮に協力した事業者に、1店舗当たり1日6万円支給の他に、新たに1店舗当たり最大で168万円の協力金を支給することになりました。協力開始が2月8日に間に合わない場合でも協力開始から3月7日までのすべての期間、協力すれば日割りで支給となります。

県内19万5千人の医療及び 高齢者施設職員と新規入 院入所者にPCR検査実施

すでに埼玉県では12市における高齢者施設職員に対する徹底的な検査を開始していますが、さらに、全県(政令市・中核市除く)の入院医療機関、高齢者施設の従業員、及び新規入院入所者に対し、集中検査を実施することになりました。検査時期は2月中旬より順次開始し、3月下旬までとしています。日本共産党県議団と日本共産党県委員会が求めてきたことが実現しました。

新型コロナ 鴻巣市の対応

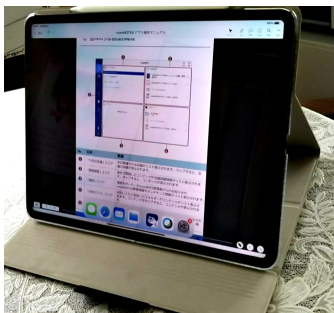
新型コロナウィルス ワクチン接種事業開始

2月5日に鴻巣市議会全員協議会が開催され、新型コロナウィルスワクチン接種事業について執行部より説明がありました。国から示された段階での取り組みです。

接種が最も優先される医療従事者は埼玉県が実施主体となり3月頃から、鴻巣市が実施主体となる65歳以上高齢者は4月頃から始まり、基礎疾患のある方・高齢者施設従事者、一般の方、と接種のスケジュールが示されました。

公共施設の利用制限の延長 とイベント等の制限を実施

- 緊急事態宣言が延長されたことを受け、屋内公共施設の利用制限とイベント等への参加制限が行われます。
- ① 3月7日(日)まで公共施設の夜間利用を20時までとすることを継続。
 - ② 屋内公共施設の新規利用予約の受付停止を3月7日(日)まで継続。
 - ③ 小・中学校の卒業式及び入学式は児童生徒と保護者のみの参加で行う。
 - ④ 確定申告は予定どおり行う。
 - ⑤ 2月13日に予定していたフラワーバレンタインは中止する。
 - ⑥ 2月22日の中学校給食センター落成式は参加人数を制限して行う。
 - ⑦ 3月26日に予定している合併15周年式典は参加人数を制限して行う。



3月議会から使用する議員用のタブレットが貸与されました。

俳句コーナー

黄昏て墨絵のごとき山の重なり

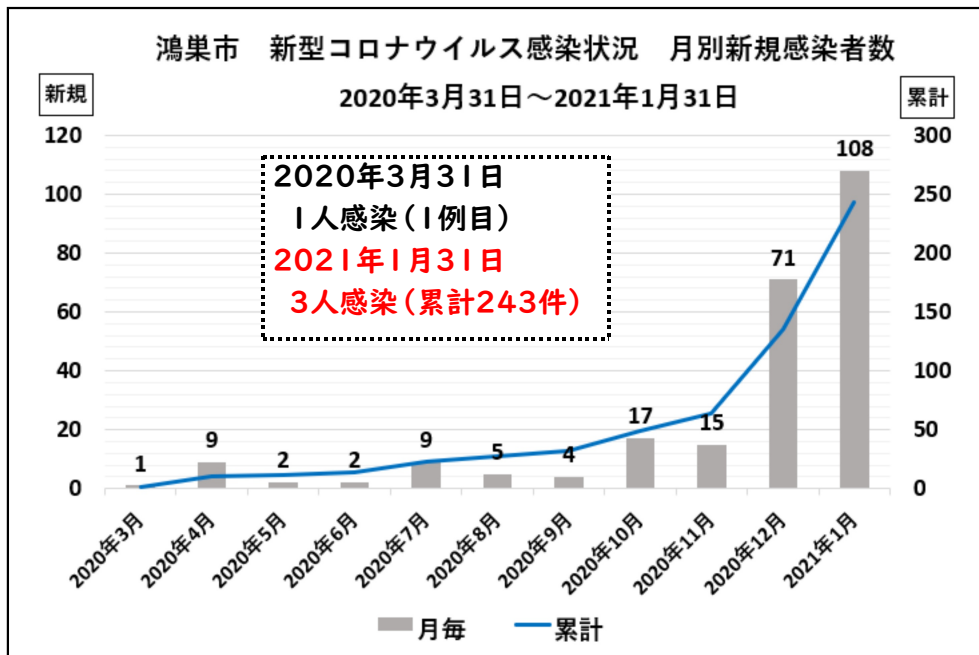
ちよ

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

埼玉県より公表された陽性者確認の情報提供に基づき

すわみつえ市議が鴻巣市内の新型コロナウイルス感染状況を集計！



【埼玉県 新型コロナ情報】

2021年2月5日現在

データ提供:JX通信社

●現在感染者数	3,628
●新規感染者数	227
●累計感染者数	26,317
●退院者数	22,291
●死亡者数	398

【鴻巣市 新型コロナ情報】

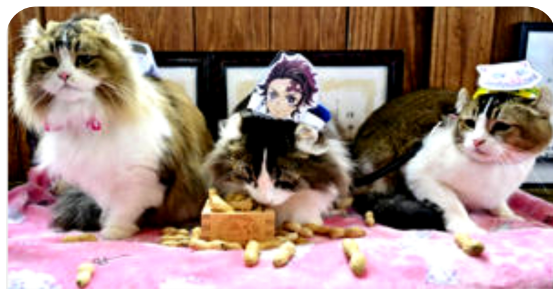
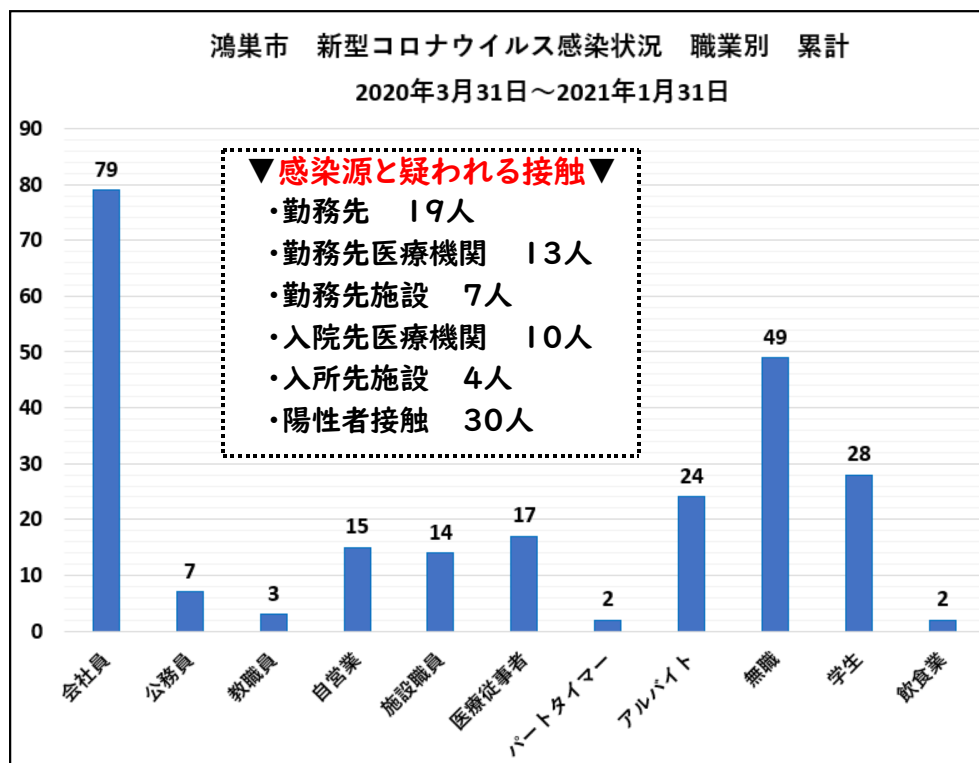
2021年1月31日現在

データ提供:埼玉県

●現在感染者数	29
〈内訳〉	
入院中	12
宿泊療養	5
自宅待機	11
入院調整中	1
●新規感染者数	3
●累計感染者数	243
●退院・療養終了	214
●死亡者数	0

【鴻巣市 家庭内感染】

2020年3月	1人
2020年4月	7人
2020年5月	0人
2020年6月	0人
2020年7月	2人
2020年8月	2人
2020年9月	3人
2020年10月	7人
2020年11月	4人
2020年12月	36人
2021年1月	42人
計	104人



豆まきのイベントに登場した(左から)さくら、らぶ、ぴーち

豆まきに挑戦「鬼滅の二やいば」

若松・芦ノ牧温泉駅のネコ

節分の2月2日、県内各地の神社などは新型コロナウイルスの影響で、大勢の人が参加する例年の豆まきを中止とし、参拝者らが静かに無病息災や家内安全などを願った。会津若松市の会津鉄道芦ノ牧温泉駅では、節分に合わせて駅のネコ従業員3匹が豆まきに登場した。鉄道の安全運行を願う催しでネコ従業員の愛らしい姿が駅利用者らを和ませた。

節分の恒例行事として毎年実施している。今年は2代目名誉ネコ駅長「らぶ」と、弟で元施設長の「ぴーち」、妹で見習い駅員の「さくら」が人気アニメ「鬼滅(きめつ)の刃(やいば)」のキャラクターをあしらったお面を着けて登場。職員の手を借りて豆まきに挑戦したり、手前に置かれた落花生に前脚を伸ばしたりした。駅員の小林真理奈さん(36)は「今年は安全運行だけでなく、新型コロナ収束への思いも込めた」と話した。

福島民友新聞 2月3日付